市史編さんの窓 (30)

阿賀浦の開発

阿賀浦とは、阿賀野川に沿った上金沢・東金沢・大安寺・中新田の四つの部落を指します。新津市に合併する以前、阿賀浦村として一村を形成していた関係上、今に至るまでこの地区を指す代名詞となっています。

この阿賀浦の開発については、古くは応永十八年（一四一一）居多文書に金沢の名が見えますが、中蒲原郡誌・新津市誌（昭和二十六年発行）によれば元和元年（一六一五）の開発（新津市誌では沢海藩）とされています。また皇国地誌（明治の初め、政府が当時の各町村の戸長に調査、提出させた官撰国誌）では、寛永年中（一六二四～一六四三）の開発とし、その開発にあたった人々の名をあげています。

この二つの開発年代の相違に対し、一つの暗示を与える文書が新潟で発見されました。元中新田村庄屋であった井浦家の文書です。この中に、今から三百五十余年前の寛永十年（一六三三）、沢海藩の家老神田左内が出した満願寺村野やち開発の免許状が含まれていたのです（阿賀浦は元、満願寺村の地籍でした）。皇国地誌によれば、中新田の開発は「寛永十年、当新津村名主　井浦津左衛門弟左太郎及与左衛門・忠右衛門・六左衛門ノ四人満願寺村ヲ開発シ村名ヲ四ツ興野トナス」とあります。

この皇国地誌と免許状は、年代（寛永十年）が同じで、左太郎の名も見えます。ただ、皇国地誌は左太郎外三名なのに、免許状では左太郎・左兵衛の二名になっています。今一つ見逃せないのは、この免許状では、はっきりと四ツ興野新田の左太郎・左兵衛殿となっていることです。つまり、寛永十年以前、すでに四ツ興野新田の実在を物語っています。

なお、元和から寛永にかけて阿賀浦に関係あるのは、元和元年寺新田の盛岩寺の開基、翌二年の沢海藩溝口家より同寺に除地一町一反八畝が付与されたこと、更に寛永年中、各部落に神明宮が創建されたことなどのほかには、記録も言い伝えもありません。

阿賀浦の開発は元和か寛永か、というと、やはり沢海藩による元和元年に歩があるような気がします。今はただ、寛永十年以前の資料が出てくるのを待つのみです。

沢海藩家老神田左内が出した満願寺村野やち開発の免許状（内容は下記のとおり）

満願寺村野やち
之内新開之儀
申付候間皆作
可仕候四年め
年貫指上可申
者也
寛永拾年
二月九日　神田左内 ㊞
（花押）
四ツ興野新田
左太郎殿
左兵衛殿
参

年末かけこみ融資
運転資金としてご利用ください

市では、中小企業者の皆さんのために、「年末かけこみ融資」の受け付けを行っています。年末にかけて、何かと資金が必要になるかと思いますが、次の二つは運転資金として融資を受けられます。

なお、利用を希望される方は、早目に市役所商工観光課（☎4―二二一一内線二四七）、または市内金融機関の各支店へご相談ください。

♥地方産業育成資金
□貸付限度額…三百五十万円
□貸付利率…信保付六・三五％、そのほかは六・八五％
□貸付期間…三年以内

♥小規模事業振興資金
□貸付限度額…三百万円
□貸付利率…七・一〇％
□貸付期間…四年以内

歳末たすけあい運動は十二月三十一日まで＊

歳末たすけあい運動が、十二月三十一日まで行われます。昨年の「歳末たすけあい」では、全国で約七十三億円のお金が集まり、心身障害者、恵まれない子どもたち、寝たきり老人、生活困窮世帯などに配分されました。

今年もこのような人たちが「みんなそろって明るい正月」を迎えられるように、多くの人のご協力をお願いします。

市職員の異動

係長級以上の異動は次のとおりです（十二月一日付）。

▽農林課長補佐（都市計画課長補佐）山崎勝司　▽都市計画課長補佐（同課主幹）樋浦和夫

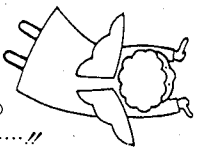
初めての校舎に緊張気味

新入学児童健康診断が、今年も市内の各小学校で行われました。阿賀小学校でも、11月27日に健康診断が行われ、期待と不安に胸がいっぱいの新1年生候補たちは、お母さんに付き添われ、ちょっと緊張気味。しかし、歯科検診、内科検診を受けているうちに、いつもの笑顔が戻っていました。

お買物、ご用命は市内で

ことしも聖なるイブのファミリーパーティは、にいつオーサカヤのクリスマスケーキ

12月1日より予約を受け付けております……!!
生クリームは20日で締切らせていただきますのでお早めにご予約下さい……!!



おいしいから好き
にいつ オーサカヤ
本町2　☎(2)-0112